ヒートポンプ技術
マガジン

Vol.44 No.2 / 2026



「イノベーションによる脱炭素化 ― ウィーンで開催された第 15 回 IEA ヒートポンプ国際会議のハイライト」

目次

本号について 1

序文
第 15 回 IEA ヒートポンプ国際会議（ウィーン） 3

ヒートポンプ賞 2026
「ピーター・リッター・フォン・リッティンガー国際ヒートポンプ賞 2026」受賞者 5 名 5

第 15 回 IEA ヒートポンプ国際会議（ウィーン）の開幕 10

ワークショップの概要報告 15

論文賞およびピッチ賞 23

注目技術セッションの報告
冷暖房分野の脱炭素化 25

産業・商業分野における革新的なヒートポンプの活用 28

スマートグリッド、デジタル化、システム統合 31

都市部および既存建築物向けの技術 34

政策、市場メカニズム、規制の枠組み 38

規格、認証、品質保証 43

第 16 回 IEA ヒートポンプ国際会議の開催地 46

ヒートポンプテクノロジーマガジン 2／2026 号へようこそ!

ヒートポンプテクノロジーマガジン 2026 年第 2 号へようこそ。本号は、2026 年 5 月 26 日から 29 日にかけてウィーンのホーフブルク宮殿で開催された「第 15 回 IEA ヒートポンプ国際会議」の特集号です。参加者 812 名、論文発表 367 件、セッション 78 件、ワークショップ 10 件、政策フォーラム 3 件が開催されたウィーンでの会議は、同会議史上最大規模となりました。本号では、この 4 日間にわたる充実した会議の内容を、一気読みできる形にまとめました。第 15 回 IEA ヒートポンプ国際会議の全論文は、HPT TCP データベース（https://heatpumpingtechnologies.org/publications）からご覧いただけます。

「序文」では、本会議を通じて明らかになったヒートポンプ技術の現状や今後の方向性について、会議で明らかになった点を振り返り、背景を概観しています。また、プログラム全体に共通して見られた変化について浮き彫りにしています。中心的な論点は、「この技術が成果を上げられるか」という点から、「どのように統合・運用・資金調達・規制されるか」という点へと移行しつつあります。

「ヒートポンプ技術ニュース」では、会議の夕食会において授与された「2026 年ピーター・リッター・フォン・リッティンガー国際ヒートポンプ賞」の受賞者 5 名についてお伝えします。受賞者の Graeme G. Maidment 氏、Thomas Nowak 氏、Renato Lazzarin 氏、Björn Palm 氏、渡邉澂雄氏は、4 つの大陸にわたり、研究、産業、標準化、政策の各分野で数十年にわたる活動を続けてきた方々です。

会議の記事は、プレナリーセッションから始まっており、そこでは IEA、IIR、UNIDO、Wien Energie、日本のヒートポンプ・蓄熱センター、ロッキーマウンテン研究所による基調講演が行われ、ヒートポンプが気候変動対策と同様に、エネルギー安全保障や経済的負担の適正化（アフォーダビリティ）に関わる重要な課題としても位置づけました。続いて、政策フォーラムおよびワークショップの概要をまとめた記事が掲載されており、循環型経済、集合住宅、ポジティブ・エナジー・ディストリクト、住宅用システムの設計、および高温ヒートポンプの産業分野での導入について取り上げられています。

論文賞およびピッチ賞は、会議の査読プロセスを経て選出された、着霜の測定、ボーリング孔設計の不確実性、および炭化水素を用いた高温ヒートポンプに関する 3 つの研究成果を表彰するものです。

「選定技術セッションの報告」は、本号の中で最も大きな比重を占める記事です。この報告は、ウィーン会議のプログラムを構成した 6 つの主要な研究分野―冷暖房部門の脱炭素化、産業・商業分野における革新的なヒートポンプの活用、スマートグリッド・デジタル化・システム統合、都市部および既存建築物向け技術、政策・市場メカニズム・規制の枠組み、そ

して規格・認証・品質保証―に基づいて構成されています。各報告は、ウィーンで発表された論文を基に、単に何が示されたかだけでなく、それらが総合的にどのような意味を持つのかを明らかにしようとするものです。

最後に、「閉会式」の記事では、会議の参加人数などを報告するとともに、2029 年の開催地を発表しました。

Enjoy your reading!　　*どうぞお楽しみください！*

Dr Metkel Yebiyo, Editor
Heat Pump Centre

The central communication activity of the Technology Collaboration Programme on Heat Pumping Technologies (HPT TCP)

ヒートポンプ技術マガジンを購読する

ニュースや最新情報、更に詳しい情報については、ウェブサイトをご覧ください

Read HPT Magazine NO 2 /2026

この HPT Magazine の効果的な活用のため、今後改善を図っていきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見、ご要望などを下記事務局までお寄せ下さい。

事務局連絡先：（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター　国際・技術研究部
IEA HPT TCP 日本事務局　　上ノ土　晋
TEL　　：03-5643-2404　　FAX：03-5641-4501
e-mail　　：uenotsuchi.susumu@hptcj.or.jp